

イオンフードサプライ株式会社

2021年度

# 環境報告書

*Environmental Report*

更新日 : 2022年9月1日  
作成 : 本社ISO事務局

# 目次

■環境方針	P3
■環境との関わり	P4
■ISO14001：環境マネジメントシステム	P5
■2020年度：環境目標と実績	P6
■主な環境関連法	P7
■環境パフォーマンス・・・過去3年間推移	P8
■社会貢献への取組み	P9

# 環境方針

イオンフードサプライ(株)は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で地球規模での持続可能な社会の実現に寄与することを基本理念とする。

当社は、食品の製造・加工及び物流事業を営んでいることを踏まえ、イオンサステナビリティ基本方針に則り、以下の方針に基づき「未来のために環境に配慮する」活動を継続する。

1. 私たちは、事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を認識し、環境汚染の予防ならびに低炭素社会の実現を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 私たちは、事業活動を通じて、「環境」と「社会」の両側面に配慮し、温暖化ガスの排出量の削減に取り組みます。
  - 1) 製品について
    - ①環境に配慮した製品化に取り組みます。
    - ②製品の製造・配送・廃棄の過程を見直し、環境負荷の低減とエネルギー効率の向上に取り組みます。
  - 2) 本社・センターについて
    - ①省エネルギー・省資源に取り組みます。
    - ②リデュース・リユース・リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
    - ③大気汚染物質の排出低減に取り組みます。
    - ④使用する資材や物品はより環境負荷の少ないものを選択します。
    - ⑤それぞれのセンター周辺の環境美化活動の推進に取り組みます。
    - ⑥イオン及び地域の社会貢献活動に積極的に協力します。
3. 私たちは、事業活動、製品及びサービスの環境側面に関わる法規制及び受入れを決めたその他の要求事項を順守します。
4. 私たちは、この方針を従業員及び当社の事業活動を支えるすべての人々に周知し、一人ひとりが自らの役割を自覚し、自発的に行動できるようにします。
5. 私たちは、この方針を広く公開します。  
そして多くの方々とのパートナーシップを築き、取り組みの輪を広げていきます。

2022年3月30日

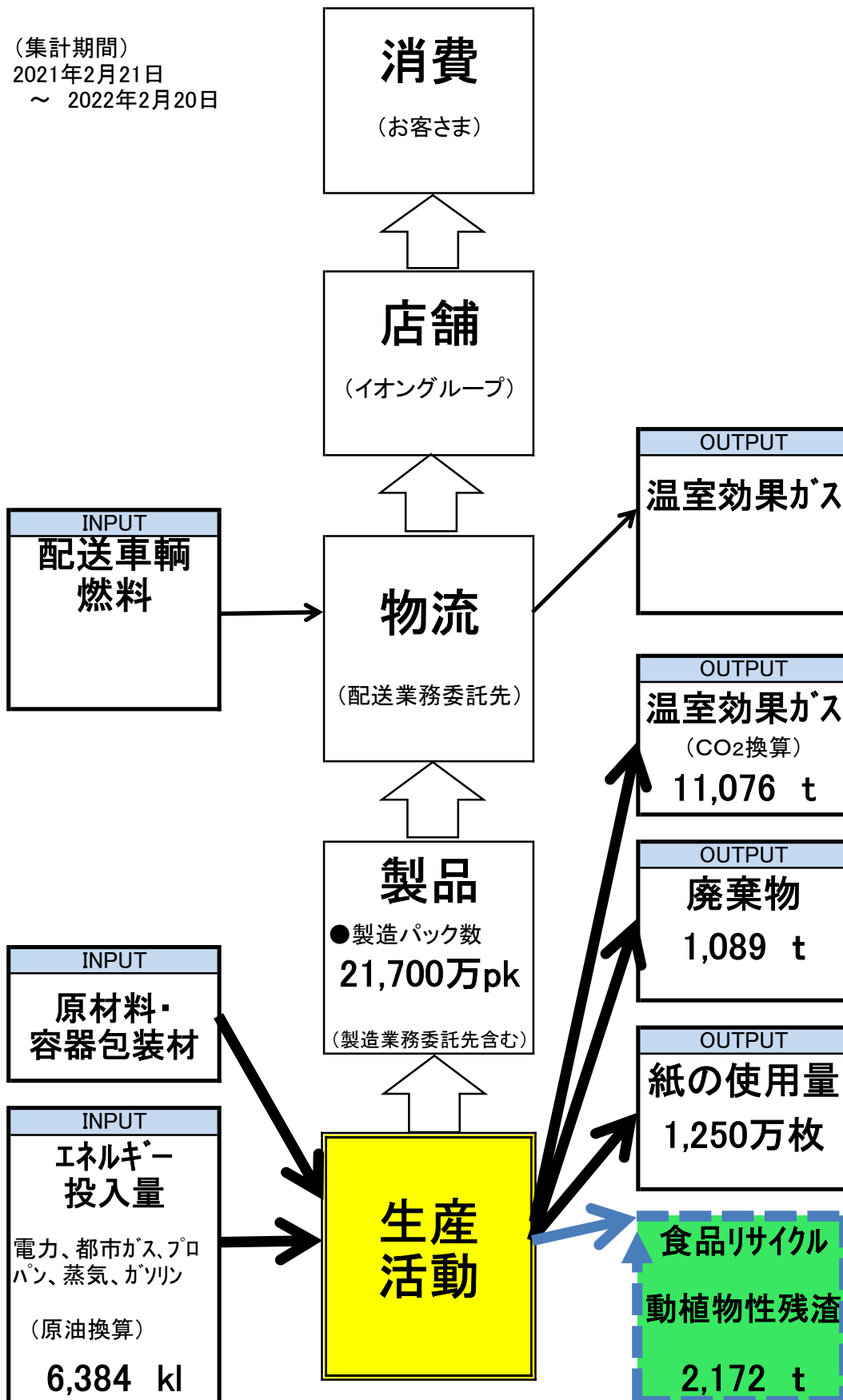
イオンフードサプライ株式会社

代表取締役社長 戸田 茂則

## ■ 環境との関わり

当社は、イオングループのPCセンターとして、水産・畜産・農産の生鮮3品と生鮮デリカの製造・加工を行い、イオングループ各店に商品供給を行っております。

(集計期間)  
2021年2月21日  
～ 2022年2月20日



# ■環境マネジメントシステム

## 【ISO14001(2015年版)へ更新認証所得】

- 登録認証機関 株式会社日本環境認証機構（JACO）
- 更新日 2021年 5月24日
- 登録サイト

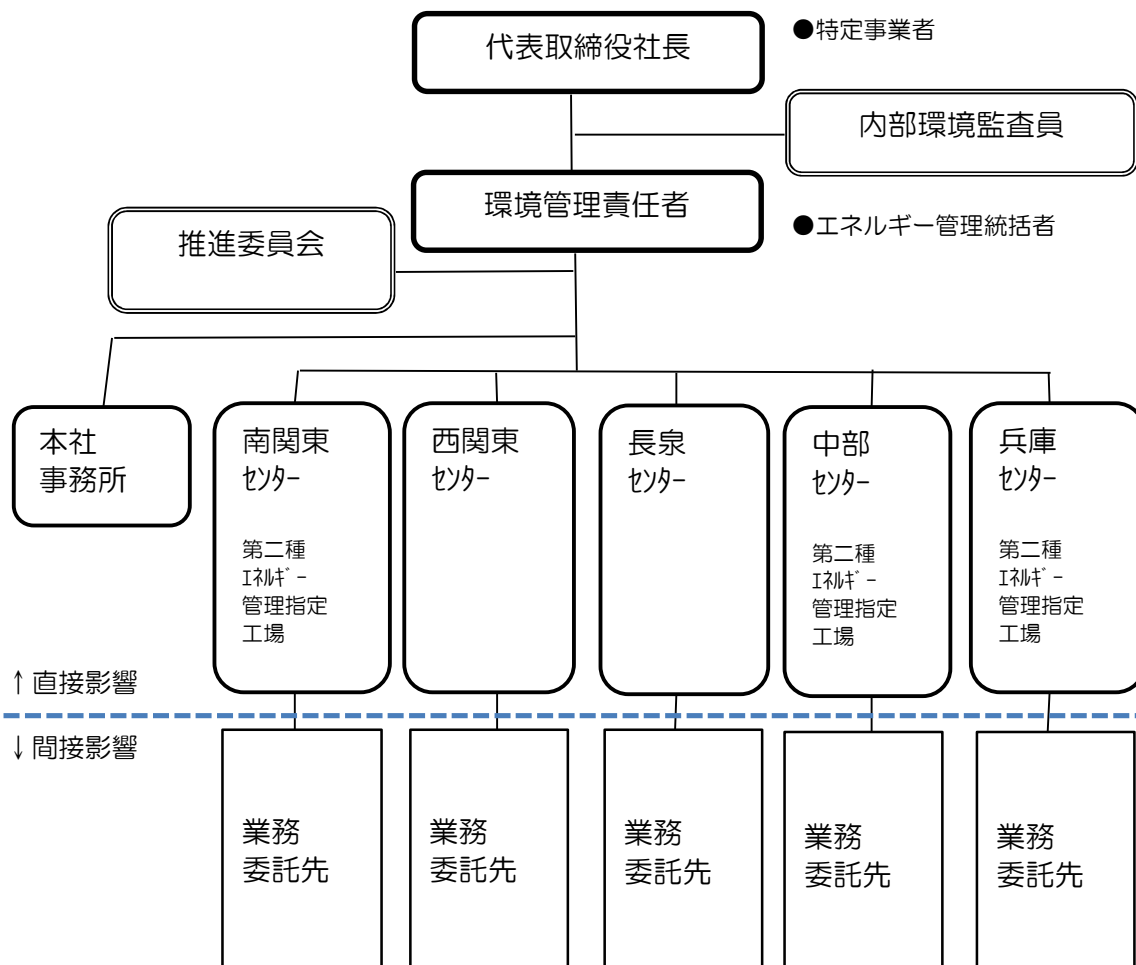
・本社事務所	千葉県船橋市高瀬町24番6号
・南関東セター	千葉県船橋市高瀬町24番12号
・新習志野DP	千葉県習志野市芝園2丁目2番5号
・中部セター	愛知県一宮市明地南菜之木25-1
・兵庫セター	兵庫県姫路市白浜町甲841番51
・長泉セター	静岡県駿東郡長泉町上長窪359
・西関東セター	神奈川県相模原市中央区田名塩田1-12-1

- 初回登録日（2004年版）2000年5月24日

## 【推進体制と継続】

当社では、事業プロセス(経営・基幹・支援)と環境負荷低減の考え方を統合した環境マネジメントシステムを構築し、従業員ひとり一人が自分の役割を自覚し、利害関係者のニーズと期待に応えていくために継続的改善に取り組んでいます。

また、当社の環境マネジメントシステムが継続してISO14001規格の要求事項を満たしているかについて、毎年、外部審査機関による定期審査を受けています。そして、3年毎に登録サイト全体として取り組みの適切性及び有効性の更新審査を受け20年となります。



## ■ 2021年度：環境目標と実績

代表取締役社長が承認した環境方針の達成及び環境パフォーマンスを継続的に改善するため、環境目的(3年間)・目標(1年間)を立案し、それぞれの活動の進捗管理を行い取り組んでいます。また、毎年度、環境マネジメントシステムの意図した成果が達成されているか社長・環境管理責任者等によるマネジメントレビューを行い、一層の活動推進を図っています。

### 【2021年度の環境パフォーマンス】

(集計期間) 2021年2月21日～2022年2月20日

※評価 計画通りに推移＝◎ 目標に向け順調に推移＝○ 継続改善が必要＝△

目 標	行動計画	達成結果
●省エネルギー・省資源 電気、蒸気、プロパンガス、都市ガス、ガソリン使用から発生する営業収益1万円当たりのCO <sub>2</sub> 排出量を803gに抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要照明の消灯徹底</li> <li>未使用機器の電源OFF</li> <li>稼働時間の削減 ・生産効率アップ</li> <li>設備機器メンテナンスの計画的実施</li> <li>旧タイプ機械の更新 ・LEDへの照明入替</li> </ul>	773g ◎
●省資源 コピー用紙(A4)の使用量を、1,265万枚に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要コピー用紙の裏面利用</li> <li>会議での配布資料の削減</li> <li>管理資料や各種指示書等の電子化</li> <li>DXツールにて電子化</li> </ul>	1,250万枚 ◎
●廃棄物排出量の削減 リサイクル以外の廃棄物排出量を、営業収益1万円当たり、81.8gに抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程での労災の削減</li> <li>商品事故(異物混入,表示不適,品質不良)による店舗からの返品を削減する</li> <li>製造ロスの撲滅(仕様書通りの製品化)</li> <li>原材料の規格管理及び期限管理の強化</li> </ul>	80.5g ◎
●再資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃プラスチックのRPF(固形燃料)化</li> <li>ゴミ分別の徹底によるリサイクル拡大</li> <li>食品リサイクルループの拡大</li> </ul>	△
●大気汚染への負荷低減 配送車輛走行による排ガスの低減	<p>&lt;配送業務委託先への協力依頼&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全運転の励行要請＝燃費の向上</li> <li>ドライバーへの省エネ運転教育の実施</li> <li>環境対応タイプの車輛導入の要請</li> </ul> <p>&lt;当社としては&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流通事故の削減</li> </ul>	○
●環境に配慮した製品化 お客さまが喜ぶ(安全・安心・おいしい・便利)商品の開発と製造	<ul style="list-style-type: none"> <li>MAP包装商品の拡大</li> </ul> <p>※MAP包装とは、これまでよりも消費期限を2日ほど延長させることが可能な保存包装方法です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高加工度商品の拡大</li> <li>当社の独自商品の開発</li> <li>従業員教育によるレベルアップ</li> </ul>	○

各部門は、社員一人ひとりが本来業務の取組目標を立案し、その達成が環境負荷の低減につながっていることを認識し、PDCAサイクルによる業務遂行に取り組んでいます。

※PDCAサイクルとは、

Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善) の繰り返し回すこと。

## ■ 主な環境関連法

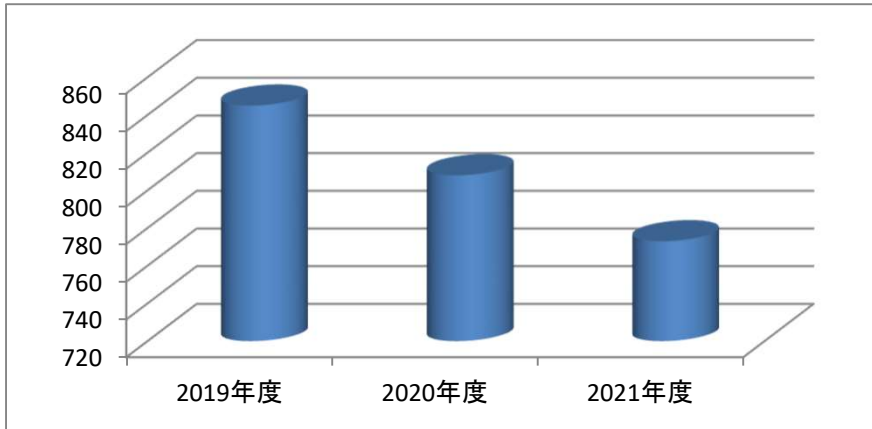
項目	環境関連法
地球環境関連	・地球温暖化対策推進法 ・フロン排出抑制法
エネルギー関連	・改正省エネルギー法
廃棄物関連	・廃棄物処理法 ・プラスチック資源循環促進法
リサイクル関連	・食品リサイクル法 ・容器包装リサイクル法 ・その他各種リサイクル法
大気汚染関連	・大気汚染防止法
水質汚濁関連	・水質汚濁防止法 ・下水道法
騒音・振動関連	・騒音規制法 ・振動規制法
悪臭関連	・悪臭防止法
安全関連	・労働安全衛生法 ・消防法

### 【事故等の状況】

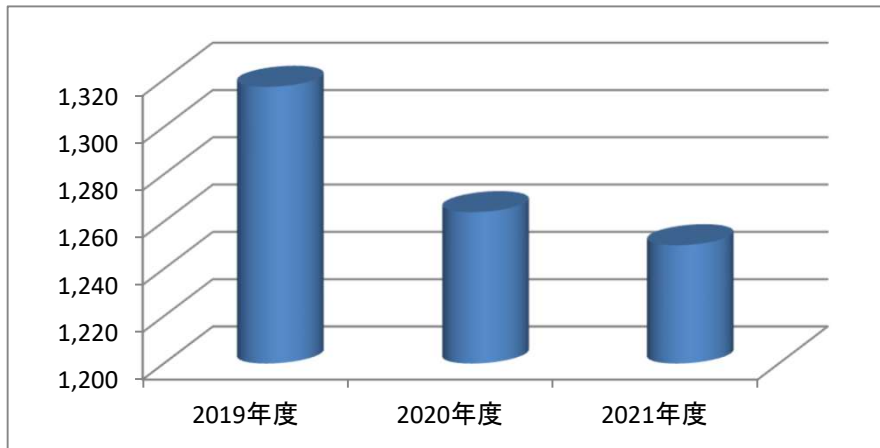
報告対象期間中における重大な事故の発生はありませんでした。

## ■ 環境パフォーマンス

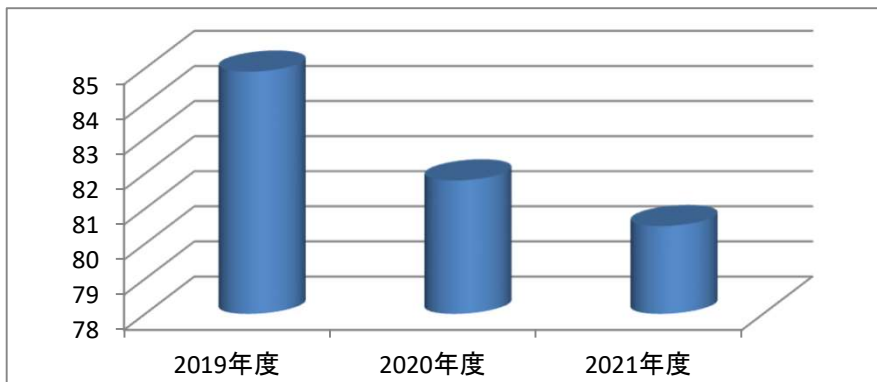
### 1. 営業収益1万円当たりCO<sub>2</sub>排出量 (単位：g)



### 2. 紙(コピー用紙)の使用量 (単位：万枚)



### 3. 廃棄物(リサイクル以外)の発生量 (単位：g)



### 4. 食品リサイクル率 (単位：%)

※毎年度、6月末までに「農林水産大臣」へ報告した数値です。  
 ※肥料、飼料、油脂製品等に再生利用されています。

2019年度	2020年度	2021年度
92.3	99.5	99.9

※2019年度につきましては一部、動植物性残渣以外の廃棄物も含めた再生利用等の実施率となります



## 5. プラスチック排出重量

	2021年実績	2022年目標
産業廃棄物の排出量（廃プラスチック類）	347t	330t
再資源化率	16%	21%

※実績は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書より算出

## ■ 社会貢献への取組み

【南関東センター】 千葉県船橋市高瀬町24番12号

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・周辺クリーン活動 他

【西関東センター】 神奈川県相模原市中央区田名塩田1-12-1

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・エコキャップ寄贈による世界の子供へのワクチン寄付
- ・周辺クリーン活動 他

【長泉センター】 静岡県駿東郡長泉町上長窪359

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・長泉町花いっぱいクラブ活動参加
- ・沼津特別支援学校 サッカー大会協賛
- ・周辺クリーン活動 他

【中部センター】 愛知県一宮市明地南栄之木25-1

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・いなざわ特別支援学校への絵本寄贈
- ・周辺クリーン活動 他

【兵庫センター】 兵庫県姫路市白浜町甲841番51

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・社会福祉法人「あさなぎ」クリスマス会用ケーキ贈呈
- ・社会福祉法人「真砂園」掃除機寄付
- ・周辺クリーン活動 他

【本社】 千葉県船橋市高瀬町24番6号

- ・イオングループ各種支援募金に参加
- ・子どもの食 応援ボックス参加（WRI10×20×30）
- ・周辺クリーン活動 他